

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
 プロトコルが存在しない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	FOLFIRI
診療科名	消化器内科
診療科責任者名	平田 信人
適応がん種	大腸がん
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	En-7
登録日・更新日	2007年10月1日
削除日	
出典	J Clin Oncol. 2004; 22 : 229-37
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	使用薬剤	規格	投与量算出式	ルート					投与時間	施行日
No.1	トポテシン注	100mg	150 ~ 180mg/m <sup>2</sup>	IV	DIV	IVHポート	側管	その他( )	2時間	Day1
	生理食塩液	500mL								
No.2	アイソボリン注	25、100mg	200mg/m <sup>2</sup>	IV	DIV	IVHポート	側管	その他( )	2時間	Day1
	生理食塩液	500mL								
No.3	5-FU注射	250mg	400mg/m <sup>2</sup>	IV	DIV	IVHポート	側管	その他( )	bolus	Day1
	生理食塩液	50mL								
No.4	5-FU注射	250mg	2400 ~ 3000mg/m <sup>2</sup>	IV	DIV	IVHポート	側管	その他( )	46時間	Day1
	生理食塩液	20、50mL								

1コースの期間	14日
投与間隔の短縮規定	短縮可能( 日) ・ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	トポテシン 投与予定日のWBCが3000/mm <sup>3</sup> 未満またはPltが10万/mm <sup>3</sup> 未満の場合には、本剤の投与を中止または延期する 投与予定日のWBCが3000/mm <sup>3</sup> 以上かつPltが10万/mm <sup>3</sup> 以上であっても、WBCまたはPltが急激な減少傾向にあるなど、骨髄機能抑制が疑われる場合には、本剤の投与を中止または延期する	
前投薬	グラニセトロン3mg デキサメタゾン	
その他の注意事項	トポテシン併用禁忌薬: 硫酸アタザナピル(レイアタツ) 5-FU併用禁忌薬: テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤(投与中および投与中止後7日以内)	

記入者	近藤 亮
確認者	高野 秀仁